

グラントデザイン構想について

区はこれまで、区政の羅針盤である「みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、区独自の政策を立案・実行してきました。また、「区政改革計画」をとりまとめ、新たな区政の創造に向けた取組を展開しています。

区政を更に前に進めるためには、目指す将来像を区民の皆さまと共有しながら、様々な課題に取り組むことが不可欠です。そこで、おおむね10年後から30年後の将来像を、「暮らし」、「都市」、「区民参加と協働」の3つの分野からなるグラントデザイン構想としてお示しします。

練馬の発展には、区民参加と協働を根幹に据えて、「暮らし」と「都市」の両面のインフラ整備に取り組むことが必要です。区内では、町会・自治会のお祭り、商店会のイベントやまちゼミ、住民による植樹、ねりマルシェ、街かどケアカフェなど、地域に根差した区民の自発的活動が行われています。

「暮らし」、「都市」のグラントデザインが目指す将来像の実現には「区民参加と協働」を欠かすことができません。

グラントデザイン構想は、「みどりの風吹くまちビジョン」の延長線上にあるものです。いわゆる行政計画ではないため、全ての施策を網羅するものではありません。

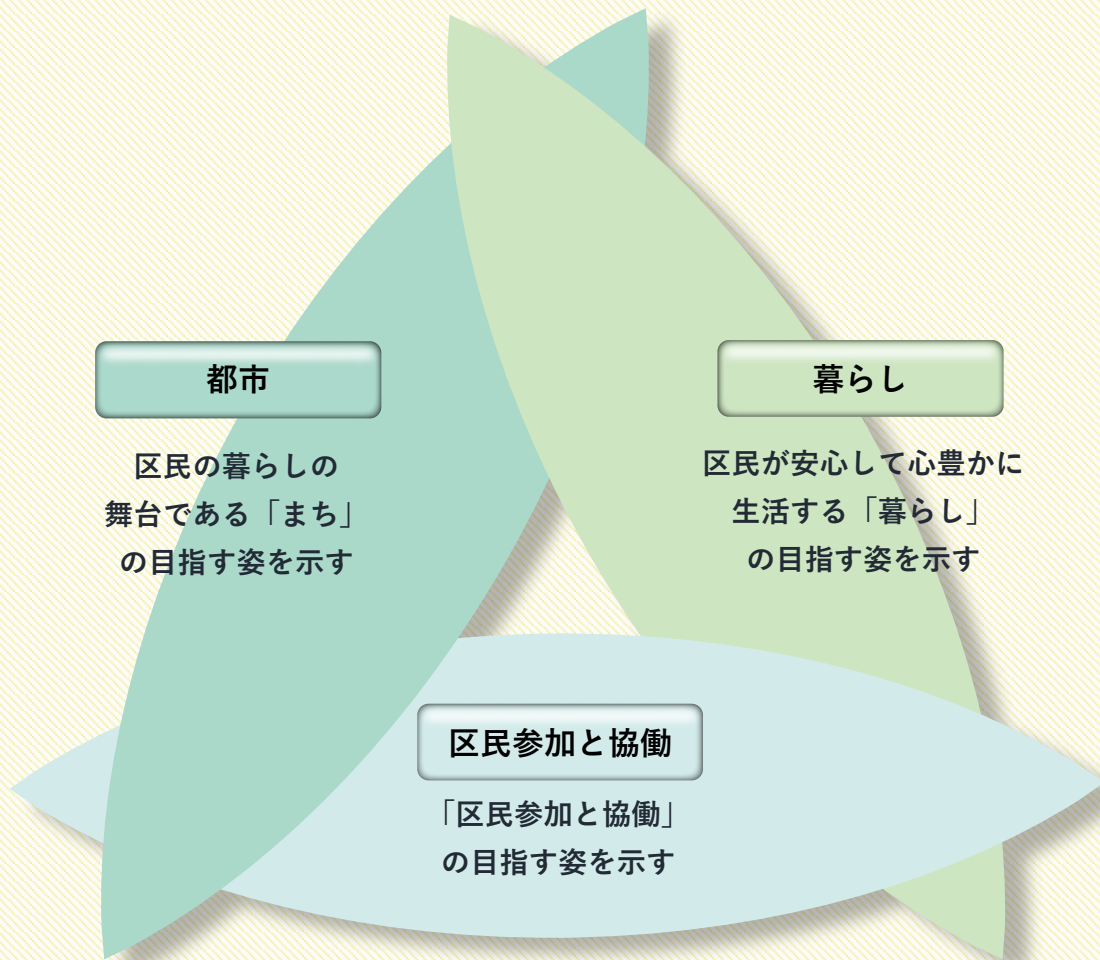
ここに示す将来像の実現に向けた具体的な取組や事業、財政フレームは、今後必要に応じて、「みどりの風吹くまちビジョン」「アクションプラン」を改定しながら、順次、明らかにしていきます。

今後、未来の練馬に望むことや取り組むべき課題など、区民の皆さまからご意見・ご提案を募集し、平成30年度中に成案化する予定です。目指す将来像を区民の皆さまと共有し、未来の練馬をつくっていきます。

グラントデザイン構想の検討にあたっては、区政改革推進会議、都市のグラントデザイン有識者委員会、区民協働のあり方検討会議をはじめ、関係団体、区民の皆さまのご意見を頂きました。厚く御礼申し上げます。

グランドデザイン構想

練馬の発展には、区民参加と協働を根幹に据えた、「暮らし」と「都市」の両面のインフラ整備が必要
おおむね 10 年後から 30 年後の将来像を「暮らし」「都市」「区民参加と協働」の 3 つの分野で示す



目指す将来像を区民と共有し、
未来の練馬をつくっていく

「暮らし」のグランドデザイン	・・・ 2	右開き
「区民参加と協働」のグランドデザイン	・・・ 31	左開き
「都市」のグランドデザイン	・・・ 57	左開き

この冊子は左右両開きの形式をとっています。